

平成 28 年度浙江省友好交流員レポート（2 月）

浙江省友好交流員 三澤拓巳

昨年 9 月から始まった「浙江省友好交流員」としての浙江大学留学も 2 月を迎え、いよいよ終了です。9 月の杭州到着直後は何もかもが不安でしたが、時間はあっという間に過ぎ終わりの時が来てしまいました。初めての留学であり、初めての海外長期滞在であった私にとってこの経験はかけがえのないものになりました。「人」「生活」「食べ物」「言葉」すべてが日本と異なる地での生活は辛いものもありましたが、終わって振り返るといい経験になったと感じます。

私事ではございますが、さらに半年留学を延長するため日本への帰国は半年先になります。帰国後はこの度の経験を活かして「栃木県と浙江省」さらには「日本と中国」の交流を促進できるような活動に積極的に参加していきたいと思えます。

今回のレポートのテーマは最後ということもあり浙江省（特に杭州市）についてまとめていきたいと思えます。

【気候・天気】地理的に上海市の南に位置する浙江省は日本の九州地方南部と同緯度のため春から秋にかけては比較的温暖です。しかし冬は寒く、雪はあまり降りませんが雨が多いため体感気温は低いです。また、私の住んでいた杭州市は発展が著しい都市であるため空気はあまりきれいではありません。もちろん北京市ほどではありませんが、日本と比べると少し汚いです。しかし空気が汚い日はマスクをするや外出を控えるなどの対策をすれば生活上の大きな問題にはなりませんでした。

【食べ物】浙江省は上海市と地理的に近いいため食べ物や料理、味付けも上海料理と似ています。比較的甘めの料理が多く、極端に辛い料理は少ないです。私の感想としては日本人の口に合う料理が多いのが印象です。浙江省の南部の温州市は食べ物や文化はすぐ南の福建省に似ているともいわれていますので、浙江省内でも地域によって多少の違いはもちろんあります。次に私の一番好きな浙江料理（杭州料理）を紹介します。それは「东坡肉（トンポーロー）」です。日本でよく見かけるトンポーローとは見た目が異なり、杭州のトンポーローは小さな器に一人前のお肉が入っている形です。1 つのお肉が



大きいので大変満足できます。おいしく、見た目も変わっているので、ぜひ浙江省・杭州市を訪れた際は食べてみてください。

【観光】浙江省を代表する観光地といえばやはり「西湖」です。この友好交流員のレポートで私が何度も紹介していますが、本当に西湖は美しいです。何度訪れても飽きることなく、素晴らしい場所です。私も半年間で何度も訪れましたが、西湖に関連する観光地をすべて見ることはできませんでした。それくらい大きく訪れるべき場所が多いということです。西湖は決して迫力がある壮大な観光地ではありません。しかし、優雅で落ち着きのある場所です。その静かな美しさが昔から愛され続けている西湖の魅力でもあります。中国各地や世界から観光客が訪れるため最近では毎週末、人が多いです。平日を狙っていくと比較的、人は少ないです（中国は人口自体が多いので日本の平日の観光地と比べると人は多いです）。



また、私が1月の省内研修旅行で訪れた「温州市」「乐清市」「天台县」「仙居县」にも素晴らしい観光地があります。私は浙江省には北京市にある「故宮」や「万里の長城」のような壮大で人工のものよりも、自然にできた遺産や自然を活用した場所、お寺などの宗教施設による観光地が多いと感じました。このような観光地にはその地域性を活かした魅力があり美しさがあります。ぜひ訪れてみてください。

最後に、半年間友好交流員のレポートを通して杭州市での生活や浙江大学での留学生活を紹介してきましたが、私が体験したすべてのことを紹介することはできませんでした。浙江省や杭州市での生活、海外留学にはまだまだ楽しいことがあります。次は是非皆さんが実際に訪れて経験してみてください。

加えて、半年間私たち交流員を支援してくださった栃木県庁の方々と浙江省外事僑務弁公室の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。